

どうしても聞きたかった 3つの質問

Q1 お土産用のお菓子に求められる条件は何ですか。

お土産用のお菓子はかつて、観光土産品というカテゴリーに入りましたが、今はお土産にする、自分が食べるなど、用途はさまざまで、求められる条件はお客さまによって異なります。ただ、流通面から「日持ちの良さ」、「手頃な価格」、それに見合った「ちょっとおいしい味」が求められることは変わりません。また、観光に特化したお土産であれば、パッケージに地名を分かりやすく表記するのも良いと思います。静岡ならコレといった、土地を代表する銘菓まで育てられれば強いと思います。

Q2 ヒット商品はどんな過程を経て誕生するのですか。

その時代の背景などもありますが、ヒットするには何か一つでもお客様にとって斬新な要素が必要です。「土井の田舎草もち」を発売した当時は、羊羹や雷おこしのような長期保存出来るものばかりで、日持ちのしない半生菓子が土産用に並ぶことはありませんでした。また、製品にキャラクターを付けた「あまんじゃく」も当時は珍しいものでした。今は製品が良いだけでは市場を開拓できません。ネーミングにこだわり、インパクトのあるCMやSNSを使った情報発信といった広報とマーケティングを両輪に、ヒットを狙うことが必要になります。

Q3 昨年、地域未来牽引企業に選定されました。地元、沼津に対する思いをお聞かせください。

地元沼津は故郷という思いがあり、県東部全体の活性化を目指す活動も行なってきました。また今回は工場増築に伴い多くの雇用を生み出したことやCMなどが目に留まり、地域の経済成長を牽引していく企業として、地域未来牽引企業に推薦いただきました。今後は観光など、県東部の全市町村がその垣根を超えて一致団結し、地域全体を盛り上げていく姿勢が大切です。お菓子作りにおいても東部全体で協力し合い県中・西部の事例のように、地元で認知され、地域を代表する銘菓が全国へと羽ばたいていけるよう牽引していけたらと思います。

学生紹介 及川瑞月 / 大学では法律、中でも会社法を研究しています。絵を描くことや友達と買い物することが大好きです!



取材風景

土井製菓株式会社

企業プロフィール	
設立	1965(昭和40)年5月1日
資本金	3,000万円
売上高	15億6,000万円(2019年3月度)
従業員数	100名(2019年3月)
事業所	[本社]沼津市市高292-23
業務内容	菓子製造及び卸売 レジャー施設・駅・サービスエリア等への土産用菓子製造 有力菓子ベンダー、食品商社を通じたスーパー、コンビニ、生協等への商品供給やOEM生産の受託
代表者	代表取締役 土井隆司
連絡先	TEL.055-925-2500
ホームページ	https://www.doi-seika.co.jp

過去の採用実績		
2019年度 4名	2018年度 4名	2017年度 5名

私がお答えしました!



代表取締役社長
土井隆司さん

1965年の創業以来、観光の土産品を中心とした菓子製造を行なっています。創業当時は国内の観光旅行が盛んな時代背景も手伝い、「あまんじゃく」や「土井の田舎草もち」など、飛ぶように売れました。自分たちが製造に関わった商品が、実際にサービスエリアや観光施設で販売されるのは、見るだけでもとてもうれしいことです。「仕事に自覚と責任を持つ」、「人に思いやりを持つ」、「自分が生きていく糧は自分で稼ぐ」という信条を持って働ける人材を求めます。

私が取材しました!

地域への愛と熱意を強く感じるインタビューでした。「観光用菓子はその地域を象徴するものである」というお話がありました。私は今まで、観光用のお菓子は県外の方だけがその地に来た印として購入しているものだと考えていましたが、実際にそのお菓子が地域に根付くためには県民にも愛される必要があると知り、とても印象的でした。地域のシンボルとなるため弛まぬ努力をし、県内を盛り上げていく社長の熱意に感動しました。



明治大学
法学部 4年
及川 瑞月